



萩原朔美  
鄭 亜美  
林 健樹  
川田夏実  
大竹 直

2023年5月21日(日)13時 開演

作：清水邦夫 演出：加藤真史 (演劇/微熱少年)

会場 群馬県立館林美術館 講堂

たてび×えんびリーディングシアター  
エレジー  
父の夢は舞う



# エレジー 父の夢は舞う 作 清水邦夫

工業高校で生物の教師をしていた平吉もすでに停年になり、その弟の右太は映画のプロデューサーのようなものをしてるらしいが、兄に借金がある。ある日、右太は兄の家の修繕をしにやって来た。そこへ平吉の息子の嫁が訪ねて来る。

平吉の息子、草平は最近肺炎で亡くなったばかりだが、この家を買うにあたり、頭金を平吉が出し、ローンは草平夫婦が払っていた。草平夫婦は最初は一緒に暮らそうとしたのだが、結局家を出てアパートで暮らしていた。それに関わらず草平はローンを払い続けたが、草平が死んで嫁が払い続けるのもおかしい話だと、嫁の塩子がローンの督促状を届けに来たのだ。

求めあう人間の孤独な愛と憎しみ、父の心は今…。

1983年、宇野重吉主演で初演。第35回読売文学賞戯曲賞受賞作。

清水邦夫 1936-2121

日本の現代劇作家に焦点を当てた上演企画として館林美術館と演劇／微熱少年のコラボレートで開催するリーディング公演。「言語」就中「日本語」に焦点を当てます。

清水邦夫は1950年代末から劇作家として活躍し、とくに蜷川幸雄とのコンビで多くの作品を生み出したことで知られる日本現代戯曲の第一人者でした。また、1994年から多摩美術大学において教鞭をとり、多くの演劇人・表現者を輩出した教育者としても知られています。清水と同時代を同じ大学で教鞭をとった萩原朔美を迎え、清水の作品の魅力に迫り、その影響が現代演劇にどのように受け継がれているかを探ります。

## ポストパフォーマンストーク

### 『研究室の二人-邦夫と朔美-』

多摩美術大学で同じ研究室を昼夜で使い分けていた清水邦夫と萩原朔美。同僚であった二人の交流とそのもとで学び、巣立って行ったアーティストたち。萩原朔美による清水邦夫との思い出と未だ語られぬエピソード。学生時代の太田・川田が見た二人とその影響。

- 特別協力 群馬県立館林美術館
- 美術 濱崎賢二 (六尺堂・青年団)
- 音楽音響 加藤真史
- 映像記録 岡安賢一 (岡安映像デザイン)
- 舞台写真 宮本雅通
- 協力 木冬社
- レトル 青年団
- 六尺堂
- ハイバイ
- 多摩美術大学演劇舞踊デザイン学科研究室 kunioshimizu.net
- 後援 群馬県 群馬県教育委員会 群馬県教育文化事業団
- 企画制作 演劇／微熱少年 加藤総合研究所
- 主催 演劇／微熱少年

萩原朔美 HAGIWARA Sakumi

前橋文学館館長、多摩美術大学名誉教授、アーティスト、演出家、映像作家、演劇実験室・天上枝敷の俳優・演出家として活動開始、退団後は雑誌「ビジュアルハウス」を手掛け渋谷発のサブカルチャーの仕掛け人としての顔を持つなど多彩な活動、祖父は詩人・萩原朔太郎、母は小説家・萩原葉子。



鄭 亜美 CHONG Ami

俳優、青年団／ハイバイ所属、青年団・遊園地再生事業団・城山羊の会などの作品に出演。舞台『銀河鉄道の夜』『東京・ノート・インターナショナルバージョン』(作・演出：平田オリザ) 東京演劇道場「わが町」(演出：柴幸男)、映画「踊る大捜査線3」「踊る大捜査線4」(監督：本広克行)「よこがお」(監督：深田晃司)など、「夜明けの夫婦」(監督：山内ケンジ)で映画初主演。



林 健樹 HAYASHI Kenju

俳優、劇団いろは、劇団青年座を経て劇団虹色くれよん・劇団えとせとら所属、「科学戦隊ダイナマン」で敵役・メギド王子を演じる。ドラマ「Gメン75」「大江戸捜査網」「影の軍団II」「遠山の金さん」「大岡越前」他、前橋文学館リーディングシアター出演多数、「わたしはまだ踊らない」(作・演出：加藤真史)で山岸外史役。



川田夏実 KAWADA Natsumi

栃木県栃木市出身。9歳よりクラシックバレエを習い、ヒップホップ、コンテンポラリーダンス、ヨガ等様々な身体表現を学ぶ。多摩美術大学卒、在学中より御茶の水美術学院講師として勤務。2010年より舞台制作の仕事に従事する傍ら身体表現に関わる活動を継続。映画「シュトルム・ウント・ドラックツ」(監督：山田勇男) 伊藤野枝役など。



大竹 直 OTAKE Tadashi

群馬県邑楽町出身、多摩美術大学卒、清水邦夫に師事する、文学座演劇研究所を経て青年団所属、平田オリザ作品の中核俳優としてほとんどの本公演に出演、国内外で活躍、映画「ほとりの朔子」(深田晃司監督)、NHK大河ドラマ「青天を衝け」平岡準役、「伝説のお母さん」など、演劇／微熱少年『縁側アロハ』『料理昇降機/the dumb waiter』



[チケット料金] 予約・当日共 一般3,000円 U-22/学生1,000円 困った割 無料※

[チケット予約特設サイト]

\*日時指定・全席自由 \*学生の方は、当日受付にて学生証などを ご提示ください \*未就学児童はご入場いただけません 【ご来場のお客様へのお願い】 新型コロナウイルス感染対策のため社会的要請に従ったご協力をお願いします。

<https://engekinetsu.peatix.com/>

※『困った割』：困難な環境にある方の観劇を応援します。経済的に困難な状況にある方、何らかの健康上のハンディキャップのある方とその介助者は無料となります。詳しくは劇団までお問い合わせください。お預かりした情報は主催者にて厳重に管理し入場整理の目的にのみ使用します。目的外の使用は一切いたしません。使用後は新型コロナ感染対策のため14日間保管の上、速やかに廃棄いたします。

チケットのご予約はこちらから→  
劇団SNSでも最新情報更新中!



お問い合わせ 演劇／微熱少年 Email [engekinetsusushounen@gmail.com](mailto:engekinetsusushounen@gmail.com) TEL 090-4365-8096(10:00 - 18:00)

インフォメーション① 同時開催企画展 夢と自然の探求者たち 19世紀幻想版画、シュルレアリスム、現代日本の作家まで 2023年4月22日(土)~6月25日(日)  
イベント：「夢から物語を紡ぐ」演劇ワークショップ 5月13日(土) 13時~16時 館林美術館講堂 演出家・俳優と一緒に、楽しみながら演劇の構造を見つけましょう。詳しくは美術館HPで

インフォメーション② 演劇／微熱少年 vol.485 『すべて重力のせいだ』『構造なり力なり』作・演出 加藤真史 2023年5月23日(火)~6月4日(日)  
出演：大竹直 加藤亮佑 酒巻蒼洋 村山朋果 / 小池舞 久保田雅彦 小川朋珠 芦塚諒洋

## 会場へのアクセス

- ◎車 東北自動車道 館林I.C. から約9km  
北関東自動車道 太田桐生I.C. から約15km
- ◎電車 東武伊勢崎線 多々良駅から徒歩20分  
東武伊勢崎線 館林駅東口からタクシー10分
- ◎バス 館林駅西口から多々良巡回線バス  
往路約30分 復路約15分

## 多々良巡回線バス時刻表

館林駅西口	多々良公民館南	立館林美術館前	館林駅西口	館林駅西口	館林駅西口	多々良公民館南	立館林美術館前	館林駅西口
8:50	9:10	9:14	9:30	13:21	13:41	13:45	14:01	
9:40	10:09	→	10:23	14:16	14:34	→	14:47	
10:43	11:03	11:07	11:23	15:02	15:31	→	15:45	
11:38	12:07	→	12:21	16:00	16:20	16:24	16:40	

## 会場 群馬県立館林美術館別館 Gunma Museum of Art, Tatebayashi

〒374-0076 群馬県館林市日向町2003 tel. 0276-72-8188 fax. 0276-72-8338 <http://www.gmat.pref.gunma.jp/>

